慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	ケネー「経済表の範式」に就て
Sub Title	
Author	三邊, 金蔵
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1926
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.20, No.4 (1926. 4) ,p.411(1)- 421(11)
JaLC DOI	10.14991/001.19260401-0001
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19260401-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

最新の研究
貿易外輸出
注意
ケネー経済表
ケネー経済表
ケネー経済表

生産階級（此階級の年々の元資は總額二十億（年々の元資とは毎年土地耕作の爲めに投ぜらるゝ費用の義にして此額の約五倍に當る設備資本とは判然區別するを要す）にして五十億の生産をなす。内二十億は純生産又は所得なりとす。）

地主階級（此階級の所得は二十億にして彼は其内の十億を生産階級よりの購買に、他の十億を不生産階級よりの購買に費す。）

不生産階級（此階級の元資は總額十億にして生産階級より原料を購入する爲めに（不生産階級に依り）費さる。）

故に生産階級は生産物十億を地主階級に賣り、同じく十億を其工業の原料として、彼より之を購入する、不生産階級に賣却す、　此額　二十億也

地主階級が不生産階級よりの購入に費したる十億は、此階級に依り其階級を組織する人々の食料として、生産階級より生産物を購入する爲めに用ゐらる、　此額　十億也

（從つて）地主階級及不生産階級の生産階級より購入する總額は　三十億也

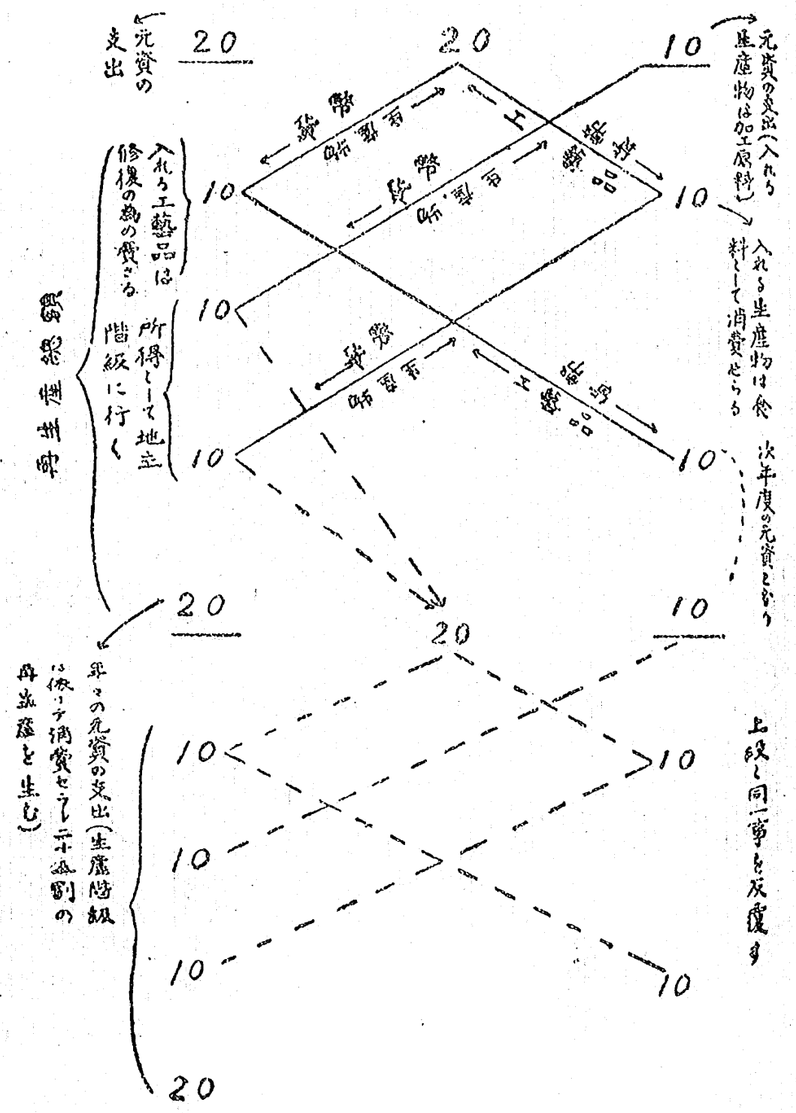
賣却せる三十億の生産物に代えて生産階級の受領せる此三十億の内其二十億は當該年度の所得として彼之を地主階級に負ひ、爾餘の十億は彼之を不生産階級より工藝品を購入する爲めに費す。此後の階級は此金額を、初め彼が其工藝品中に使用する原料を購入する爲めに、生産階級に支拂ひたる其元資を回復する目的にて保有す。」

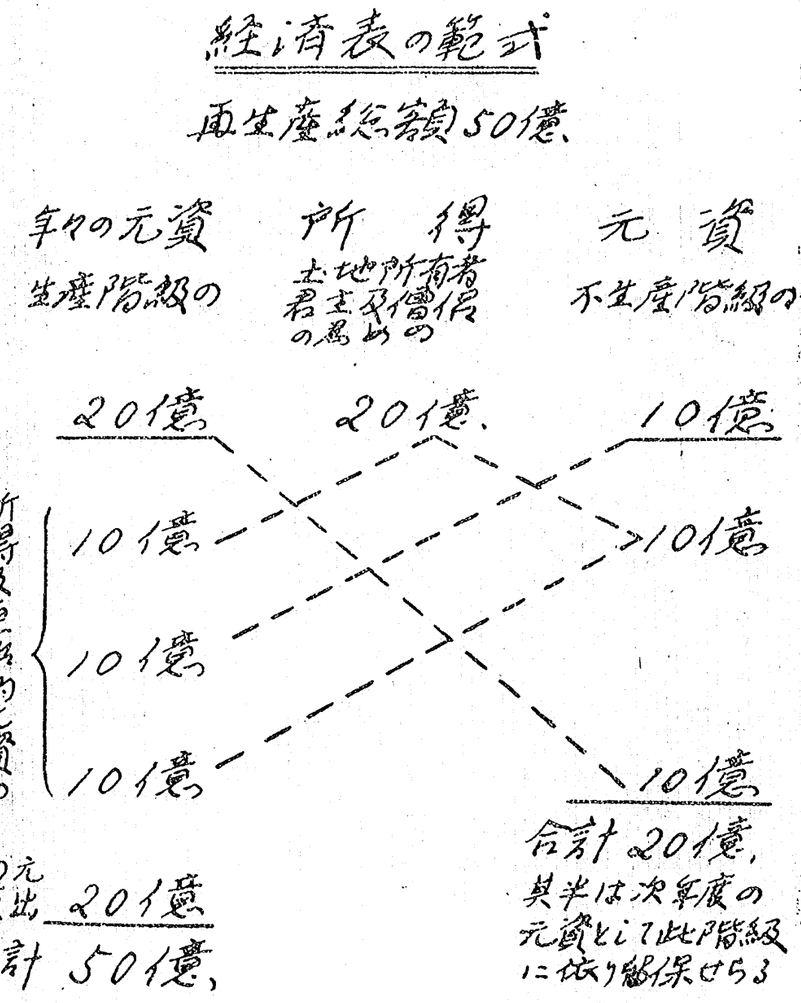
「原料と加工の爲めの勞働とは不生産階級の販賣額を二十億に達せしむ。其内の十億は此階級を組織する人々の爲めに費され……他の十億は、次年度に於て新たに生産階級より不生産階級の製作する工藝品の原料を購入する爲めに用ゐらるゝ、彼の元資を回復する目的にて保有せらる。」

「再生産總額五十億中より地主階級及不生産階級は其消費の爲めに三十億を購入したり。故に生産階級の手許には猶ほ二十億の生産物殘存す。加之此階級は不生産階級より十億の工藝品を購入せるを以て、彼の年々の基本は斯くて三十億に上り、其は此階級の各種の勞働（是は農業の年々の元資たるものより支給せらる）及び設備資産の日常各種の修復（是は後に述ぶる利子より支辨せらる）に從事する

凡百の人々に依りて消費せらる。故に生産階級の年々の費用は三十億にして、其二十億は自己の消費の爲めに保有する生産物より成り、他の十億は不生産階級より購入したる工藝品より成る。此三十億は世人が生産階級の回收（Les Reprises）と呼ぶ所のものを形成するものにして、其内の二十億は、此階級が其消費に因りて消滅せしめたる費用を補償し維持する爲め、年々再生産する其五十億の再生産の爲めの直接の勞働に費さるゝ年々の元資を形成し、他の十億は此同じ階級に依り其設備的元資の利子（譯者註、此場合に於ては百億の一割なるはケネーの言の如し）として賣却代金中より豫め控除せらる。」

而して第二に、今彼の此言に基きケネーの「經濟表の範式」を補註するときは其は左の如くなる可し、と說きて次表を示し、





最後に此表と右掲の如きケネーの經濟表の範式との對照を請ひつゝ此兩者を比較するときは其間に相違ありて

「彼此の一致を見んが爲めには、「範式」に於て左側縦列の最頂上の數字より右側縦列の下段の數字に斜行する點線を、此表の如く左側縦列第二行目の數字より斜行するものに改正するか、若くは其反對に此表を彼の範式の如く改正するかの二方法に就きて、其一を撰擇し來るを必要とするものなるが、吾人は此表を以て正しとなし從つて改むべきは彼の範式なりとなす者なり。蓋し此表はケネーの説明を忠實に追ひ行きて作れるものなれば、彼の説明に誤りなき限り、此表は改めらるべき性質のものにあらずと謂ひ得る其上に、範式の如く點線を引くはケネーの説明の何處に照合して之を勘考するも、終に其理由を得る能はずして結局無意義たるを發見すればなり。」と主張して置いたのである。

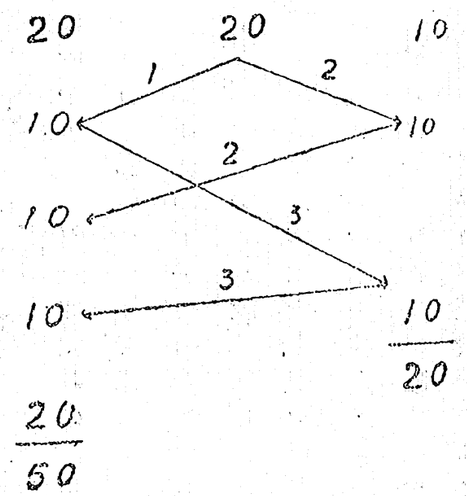
然るに最近再び自己の主張の當否を檢覈するの機を得るに及び右は必ずしも爾か謂ひ得るものにあらざるを發見したのである。而も其はケネーの右の説明を忠實に追ひ行きて作製せる自分の圖解に過ちありたるが爲めではなくして、實

はケネー自身の「範式」が右の說明を如實に追跡し行かずして稍々異れる見地より作製せられたるに因るといふ特種の事情に基くのである。因つて今其次第を述べて一部はケネーの爲めに、一部は自分の爲めに辨じて見やうと思ふ。

そこで第一に注意を請ふ可きはケネーが右の說明の後に附せる「撮要」中に於て左の如く述べて居ることである。

「五十億の總額が最初生產階級と地主階級との間に分配せられ、年々同一の再生產を永久に保證するが如き整然たる秩序にて年々費さるとせば、十億は地主階級に依り生產階級よりの購買に費され十億は不生產階級よりの購買に費さる可し。他の二階級に三十億の生產物を賣却せる生產階級は所得の支拂の爲めに其內より二十億を支出し不生產階級に就て爲す購買の爲めに其內より十億を費す。故に不生產階級は二十億を受取りて之を其働き人の食料の爲めと其工藝品の原料との爲めに生產階級に消費す。而して生產階級は年々二十億の生產物を己れ自身の爲めに費し斯くて年々の再生產總額五十億の失費又は消費を完了す」

蓋し此言に基きて圖解を作製すれば其はスチファン・バウアー氏の次の表の如



くなる可くして、之を前の「說明」の圖解と比較するときは彼此自ら相等しからずして、從つて所謂「撮要」は精確には撮要たるの用を爲さざるを見る其一方に於て此が如實にケネーの意を表はすものにあらざることも亦た此表がケネーの「範式」と等しからざるに照らして自ら明白となるからである。而して然るときはケネーの此「撮要」は之に先立つ「說明」と、之に次ぐ「範式」との間に彷徨する獨立の一立言にして何れにも歸屬せざるものなりと斯う言はねばならぬのであるが、併しケネーが是を以て「撮要」と爲すの意たるは自ら爾か名くるに徵して毫も疑ふ可くもないのである　故に結局此「撮要」は別個の見地よりケネー自身の「說明」と相容れ同時に又たケネー自身の「範式」と相和するが如くに解釋せられねばならぬのであつて、是こそ吾々の當さに努む可き眼目たるのであるが、自分は是はケネーが地主階

級生產階級及び不生產階級の三階級間に幾許の取引が行はるゝかを再說するに止めて其資源の如きに就ては必ずしも正確に再說することを期せざりしが故に即ち彼の如く然り矣と解するの外はないであらうと思ふ。蓋し之を斯く解するときは其は前の「說明」と相剋することなくして、ケネーが右の言に次いで「費用の分配は所得の總額より出て斜に一階級と他階級とに下り行く點線に依りて記さる。是等の點線の末端には、左右共に、所得の所有者が是等の各階級よりの購買に費す總額置かる。二階級間相互の取引も亦た一階級より購買の行はるゝ他階級に斜に下り行く點線に依りて記さる。而して各線の末端には兩階級の一つが他より受くる總額從つて各自の費用の爲めに彼等の間に行はるゝ取引に依りて相互に受くる總額置かる」と說く所に合致する其一方に於ては、ケネーが前の說明に於ては不生產階級は其元資十億を以て加工材料を購ひ地主階級より受くる十億を以て自己の食料品を購ひ、生產階級より受る十億を以て次年度の元資となすと謂ひ、後の「撮要」に於ては不生產階級は地主階級より受る十億と生產階級より受る十億とを以て食料品及び原料を購ふと說きて前後不一致の言を爲せる其缺陷も、「說明」及び「撮要」に於ては生產階級の資源は總て其生產物の賣却代金中より出づと謂ひながら「範式」に於ては其が恰かも年々の元資より出づるかの如くに表示せる其不一致を表示せんとする目的異るが故に、共に大體の立言を害せずとして容赦せられ從つて範式の如くに之を表示するも强ちに咎む可からずと斯ういふことになるからである。即ち軈てケネーの「範式」の辨にして、彼の範式は斯く解してのみ一條の活路を見出すと謂ひ得可きが故に、自分は今や前の結論を改めて、ケネーの範式は資源の如何を暫く度外に措きて單に各階級間に於ける購買を主として作製せられたるが故に即ち彼の如くにして、自分の圖解は彼の「說明」に基き資源をも合せて之を表示したるが故に即ち又た彼の如くなりしなりと謂はんと欲するのである